

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材に興味をもって読み、簡単な内容や登場人物の気持ちを考えること。</li> <li>話すことへの意欲はさらに伸ばす。話を集中して聞くこと。</li> <li>語彙を増やして書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読むことの学習では、教材に興味をもてるよう映像を使う。段落ごとに区切りながら丁寧に読み進め、内容理解を深めていく。登場人物の誰のセリフなのか、色シールを活用し理解を促す。登場人物の気持ちの理解については、劇あそびをすることで、理解を深めていく。</li> <li>書くことについては、教師と会話を通して文をまとめたり、絵カードを見て語彙を増やしたりしていく。</li> <li>聞くことについては、聞いて答えるような活動を増やし、聞くことに集中を促す。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>たし算、ひき算を理解し、具体物を用いて正確に計算ができること。</li> <li>図形に親しみ、興味をもって取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際のものを使って操作活動を行い、視覚から理解を促す。</li> <li>ブロック等の具体物や半具体物を用いて10までの数の合成分解を繰り返し行っていく。</li> <li>形あそびをたくさん行い、興味をもたせていく。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを理解して言葉で表出したり、絵や言葉で表したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を言う学習では、選択肢から選ばせたり、友達の意見を聞いて「同じ、違う」などの意思表示をさせるような方法を取り入れていく。</li> <li>事前に観察するものを拡大写真に撮り手元で確認できるようにしたり、教師がポイントを掲示したり、手本をみたりして模写できるようにしていく。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを立てイメージをもって意欲的に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が見本を事前に作成し、それを見ることで、教師との会話の中でイメージを膨らませ、見通しを立てられるようにする。簡潔に指示をホワイトボードで提示し、学習の順序を視覚的に示す。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と合わせて楽しく歌うようにすること。</li> <li>正しい運指で演奏すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての曲は事前に繰り返し聞いたり、教師と一緒に歌ったりする。</li> <li>色のついたシールで音階を記し、楽譜にも同じ色シールと運指番号を貼っていく。児童の指にも運指番号を貼り、運指に気を付けて演奏できるようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを理解して周りの友達と一緒に活動したり、協力したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が間に入ることで、友達と一緒に活動できるようにしていく。事前にルールを説明したり、ルールを書いたホワイトボードを適宜提示したりする。教師が友達に声をかけて友達から本人に声をかけてもらい友達と協力してできるようにしていく。同じルーティンで行い、児童が安心して活動できるようにしていく。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを言葉で表したり、相手の気持ちを理解したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の読み物の教材を使い、劇をしたりすることで、登場人物の気持ちに寄り添うことができるようにしていく。自分ならどのような気持ちになるか、選択肢を与えながら考えていく。映像を使い相手の気持ちを考える。</li> </ul>
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学級において多様な経験の中を積むことにより、自己肯定感を高め、基礎的な生活習慣を身に付けていくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習については、スモールステップで段階を踏んで達成感を高め、自己肯定感を高めていく。生活については、友達とたくさん関わられるよう教師が場の設定を行い、一緒に活動する場面を作っていく。基本的な生活習慣を繰り返し絵カードや指示カードを使い、自分で行えるよう支援していく。</li> </ul>

	成果○ と 課題▼
国語	<p>○国語の読み物では、色シールを貼ることで誰のセリフなのか確認し、劇あそびをすることで、物語の大体を理解することができた。</p> <p>○書くことについては、教師と会話を通して文にまとめ、書いたものを視写して写し作文にすることができた。繰り返し同じ工程にすることで、児童の意欲を高めることができた。</p> <p>○聞くことについては、聞いて答えたり、友達の発表を聞いて質問したりする場を設けたことで、意識して聞くことができた。</p> <p>▼国語の読み物では、内容や文章量によっては、理解するのに困難なものもあった。教材の精選が必要である。</p> <p>▼友達の発表を聞くのが難しい状況もあるので、聞くことに集中させていく手立てが必要である。</p>
算数	<p>○具体物を使って操作活動を行い、視覚から理解することができた。</p> <p>○10までの数の合成分解を繰り返し行うことで、具体物なしで理解することができた。</p> <p>○形あそびをたくさん具体物で行った。形に興味を持ち、理解を深めることができた。</p> <p>▼学習内容の確実な定着のために、いつも既習事項を振り返ることができるような掲示など工夫していく。</p>
生活科	<p>○自分の意見を言う場面では、選択肢から選んだり、友達の意見を教員が説明することで、同調したりすることができた。</p> <p>○事前に観察するものを拡大写真に撮り手元で確認し、教員がポイントで提示して違いを見つけることができた。</p> <p>▼興味をもてない学習は全体指導を聞くことが難しかった。また視覚的教材があっても違いを見つけることが難しいこともあった。児童が興味関心をもてるような学習材・課題を工夫していく。</p>
体育	<p>○教師が間に入ることで、友達と一緒に活動することができた。友達に誘ってもらって一緒に移動することもできた。</p> <p>▼学習意欲を持続していけるように活動を工夫したり、遊びの中に取り入れて日常化を図ったりしていく。</p>
道徳	<p>○友達と一緒に遊んだり、ルールを自分たちで決めてゲームをすることで、相手の気持ちを考える場面があった。</p> <p>▼遊びを通して友達の気持ちを考える場面を作っていく必要がある。</p>
音楽	<p>○初めて聞く曲は繰り返し聞くことで慣れ親しむことができた。</p> <p>○色シールを音階に記し、楽譜にも同じ色シールを貼ることで演奏することができた。</p> <p>▼交流共同学習時の個別練習時間のもち方を工夫していく。</p>
図工	<p>○教師が見本を提示することで、イメージを広げ見通しをもち、作成することができた。また友達の作品を見て模倣することもあった。</p> <p>▼児童の興味・関心の幅を広げていけるような題材を工夫していく。</p>